

しんあい なる ムスリム の みなさま!

わたしが あんしょう した アーヤ を とおして、ぜん のう の アッラー (スブハーナ ワ タアーラー) は つぎ の ように つげて おられます。「**ぜんりょう な おこない を しなさい。アッラー は おこない の ぜんりょう なもの を あいする**」。¹ また、ハディース の なか で、あいすべき よげんしゃ (かれ の うえ に しゅくふくと へいあん あれ) は つぎ の ように かたっています。「**アッラー は、かんべき な ほうほう で しごと を おこなう もの を あいする**」。²

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま!

わたしたち の すうこう な しゅうきょう である イスラーム は、なにか を おこなう なら てきせつ に おこなう よう めいじて います。できる かぎり、さいぜん かつ もっとも たいしい ほうほう で ものごと を なしとげる ために あらゆる どりよく を する よう すすめて います。てきせつ で ない おこない や すうはい、たいど、ふるまい は のぞましく ない もの として みなされます。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま!

ムスリム には、じかん を かしこく つかい、みずから こうどう する こと により さいだいの けっか を だす こと が もとめられて います。みずから の こうどう により さいだいの けっか を だす には、まずは ぜんりょう な ニイヤ を もち、つぎ に すうはい の よろこび を もって みずから の おこない を りっする こと が かんじん です。

しんあい なる ムスリム の みなさま!

なに を する にも ゆうしゅうさ を はつき できる ように する ことは、アッラー (スブハーナ ワ タアーラー) に たいして、また たしゃ に たいして はたすべき わたしたち の せきにん です。しゅ (スブハーナ ワ タアーラー) の ごぜん で もうしひらき を しなければ ならない にも かかわらず、じぶん の せきにん を ほうき する という ことは、ほんしつてき には じぶんじしん を だまして いる のと おなじ こと です。アッラー (スブハーナ ワ タアーラー) の スナナ に したがって こうどう し、ひつよう と される こと は すべて おこない、その あと は しゅ の おはからい に まかせる ひとこそ、げんせ とらいせ の りょうほう で せいこう する ひと である こと を わすれず に しましう。ほんじつ の ホトバ を、つぎ の アーヤ を もって おわります。「**ほんとう に、しんじて たいしいおこない を する もの には、われらは、その ぜんりょう な おこない の ほうしゅう を けつして むい に しない**」。³

¹ Baqarah, 2/195.

² Bayhaqi, Shu'ab al-Iman, 4/334.

³ Kahf, 18/30.